

速報値による暫定版  
(今後データの精査・分析が必要)

資料 2

# 楢葉町における 除染仮置場の状況

平成26年1月28日 環境省 福島環境再生事務所

## 楢葉町における除染仮置場の状況

■ 仮置場の構造	・ ・ ・	2
■ 仮置場の施工手順	・ ・ ・	4
■ 楢葉町の仮置場	・ ・ ・	6
■ 仮置場の保管物	・ ・ ・	7
■ 仮置場の管理	・ ・ ・	9
■ 仮置場情報の発信	・ ・ ・	12

(データは確定前の速報値ですので、後日修正されることがあります。)

仮置場は、以下条件を満たす構造として設計・施工しています。

- ・ 内部から発生する放射線を、一定レベル以下に遮へい
- ・ 保管物からの浸出水の地下浸透・外部漏出を防止
- ・ 保管物から発生する熱、ガスを、可能な限り放散
- ・ 内部への雨水の浸入を防止

上部シート(通気性の防水シート)

- ・ 雨水の浸入は防止
- ・ 内部で生じた熱やガスを放散する通気性あり

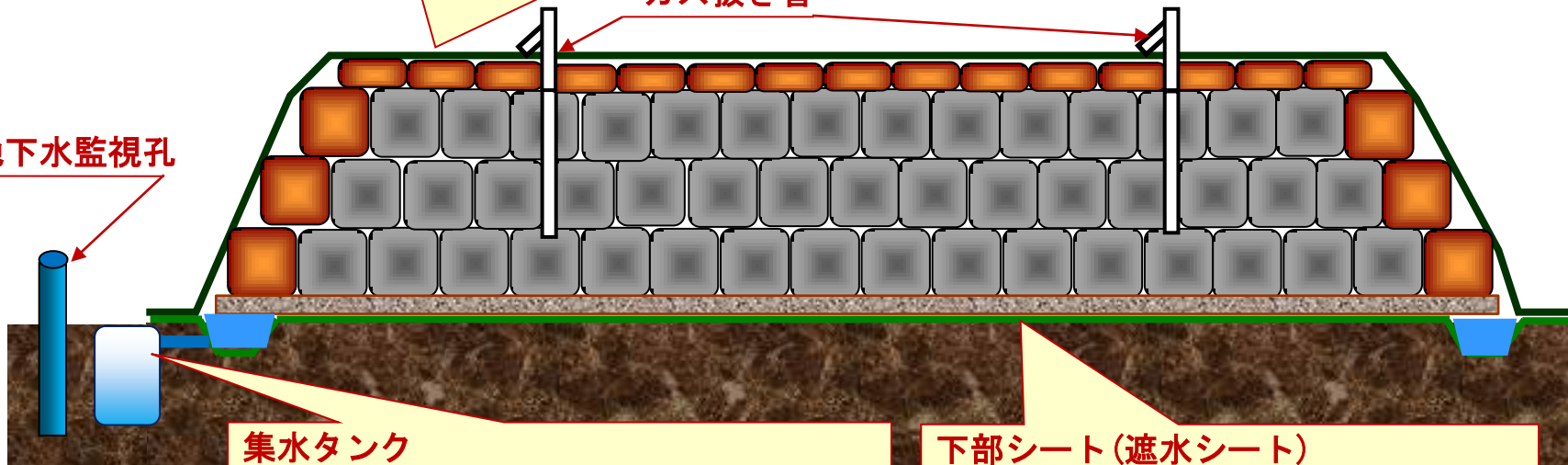


除去土壤等を入れたフレコン

非汚染土を入れた「遮へい土のう」

ガス抜き管

地下水監視孔



集水タンク

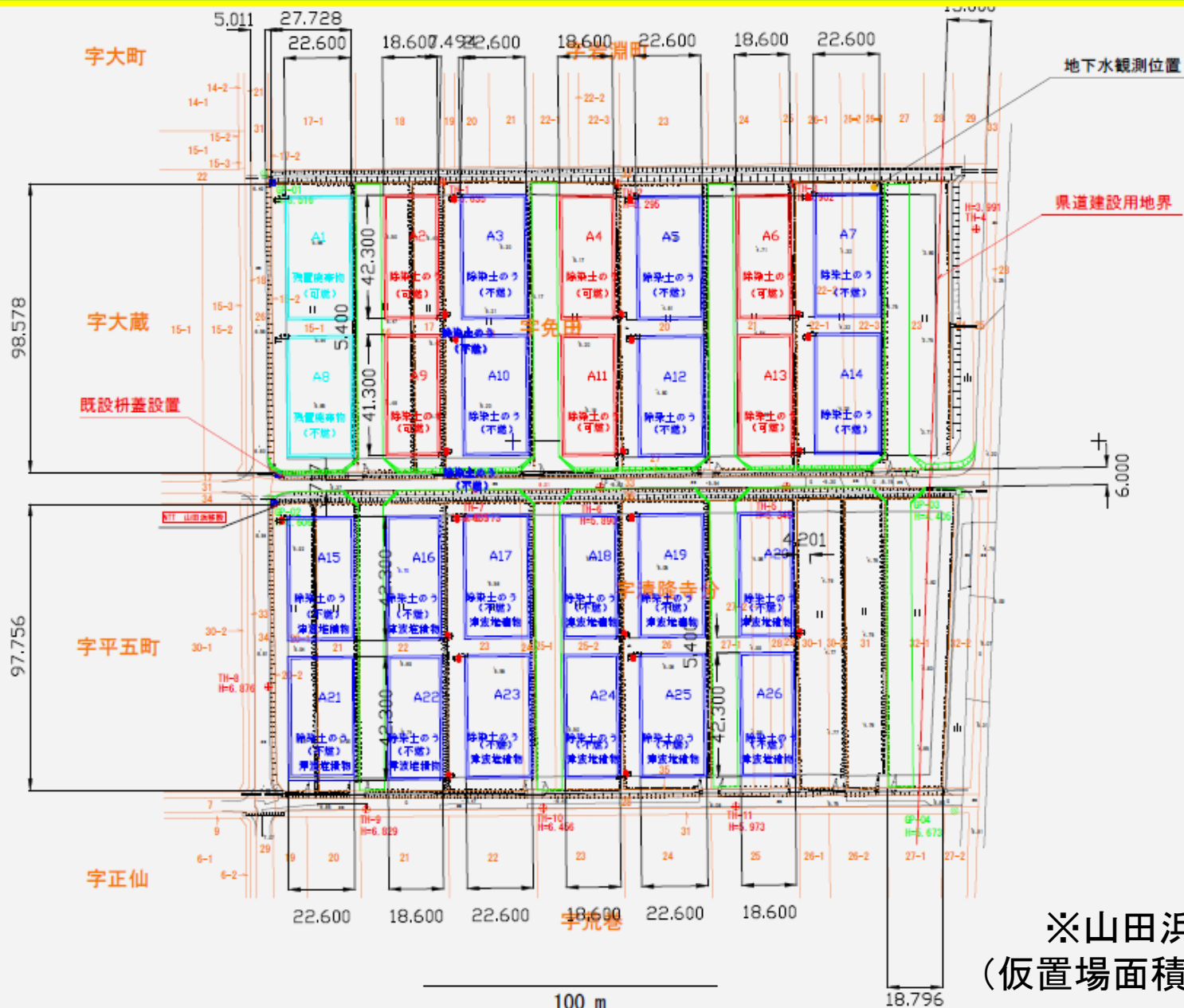
- ・ 内部からの浸出水を集めて貯留
- ・ 放射能を測定し、安全確認後に排水

下部シート(遮水シート)

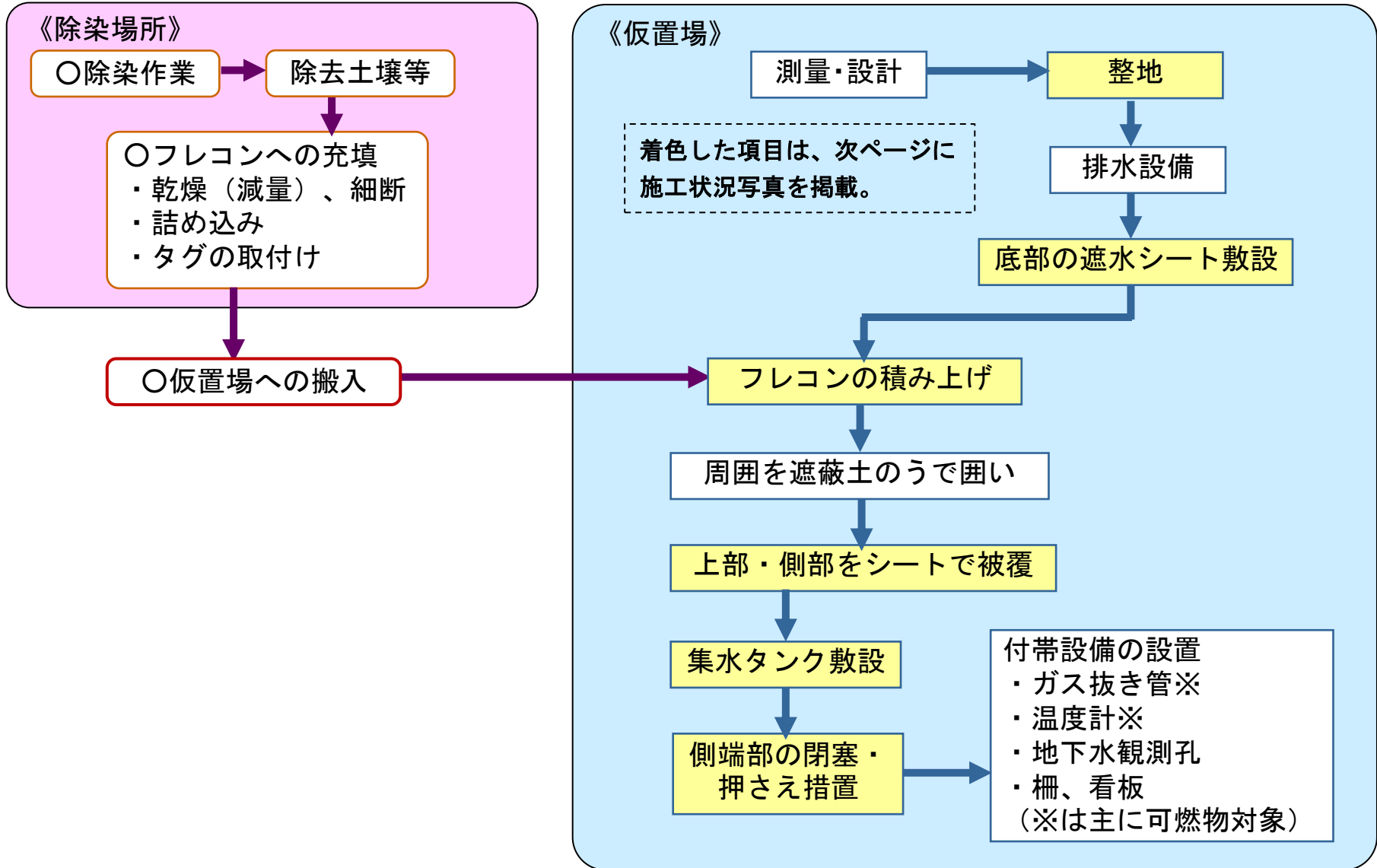
- ・ 内部からの浸出水の地下浸透を防止

※可燃物仮置場を例示

# ■ 仮置場の構造 ～実際の例（平面配置）～



※山田浜仮置場の例  
(仮置場面積 45,214m<sup>2</sup>)





整地



フレコン積み上げ



集水タンク敷設



底部シート敷設



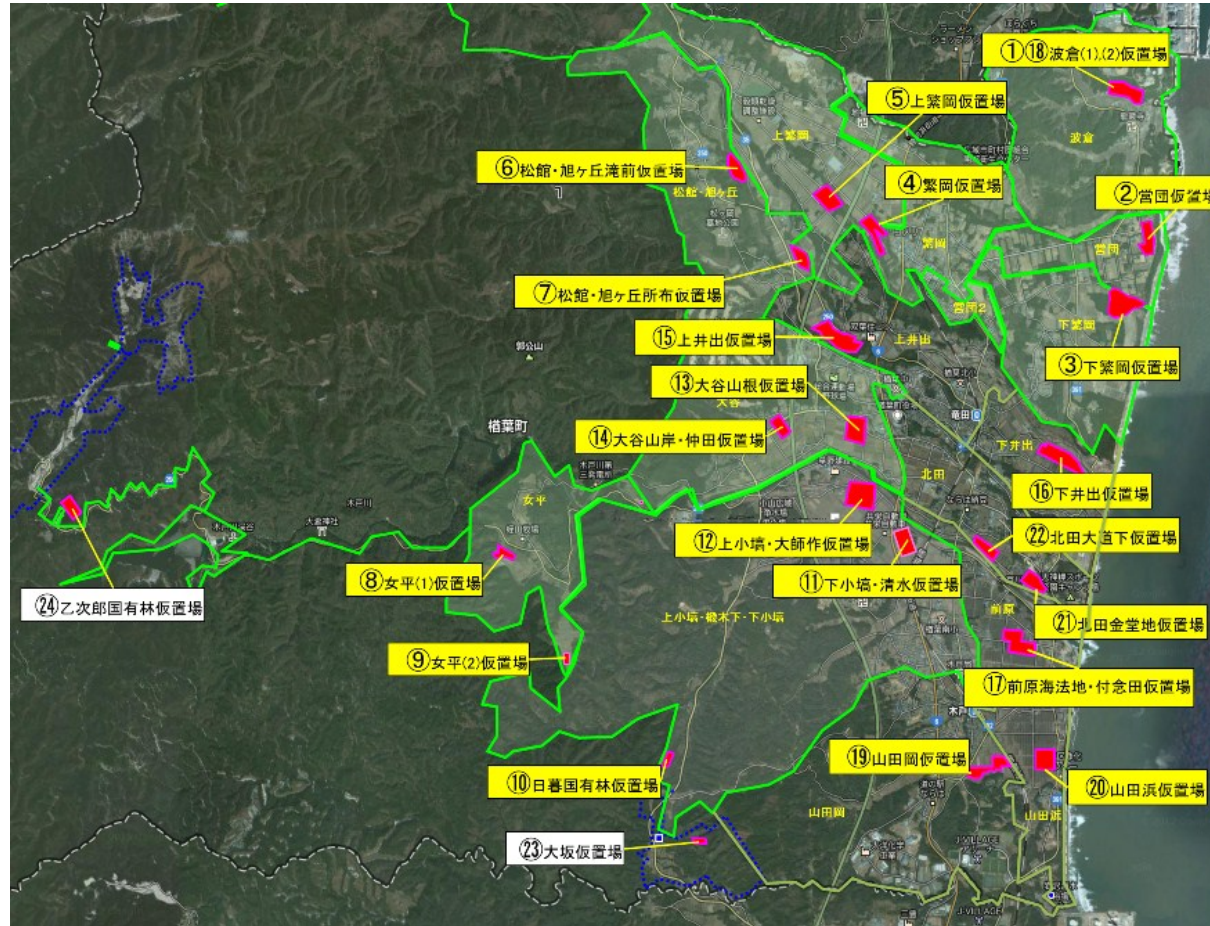
上部・側部シート被覆



側端部の閉塞・押さえ措置

# ■ 檜葉町の仮置場

## ～位置と搬入済除去土壌等～

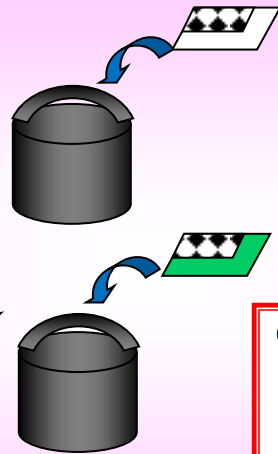


No	名称	除去土壌等(袋)
①	波倉(1)	10,307
②	営団	21,827
③	下繁岡	37,712
④	繁岡	20,479
⑤	上繁岡	35,564
⑥	松館・旭が丘滝前	5,003
⑦	松館・旭が丘所布	16,542
⑧	女平(1)	10,172
⑨	女平(2)	3,497
⑩	日暮国有林	4,808
⑪	下小埜	37,881
⑫	上小埜	24,467
⑬	大谷山根	24,343
⑭	大谷山岸・仲田	13,005
⑮	上井手	18,721
⑯	下井手	23,640
⑰	前原	16,920
⑱	波倉(2)	0
⑲	山田岡	20,512
⑳	山田浜	9,600
㉑	北田金堂地	0
㉒	北田大道下	4,833
㉓	大坂	2,915
㉔	乙次郎	3,153
	合計	365,901

※フレコン数は11/30時点で搬入済のもの

## 除染仮置場における保管物の情報の“記録”

《フレコンへの充填》



QRコード付の  
タグ取付け

- ・ 内容物の種類などを、QRコード化
- ・ 内容物の種類別に、タグを色分け

QRコード管理情報

- ・ 行政区名
- ・ 内容物の種別
- ・ // 発生地目
- ・ 保管容器の種別
- ・ 保管物の容積 (m<sup>3</sup>)
- ・ 空間線量
- ・ 搬入年月日

《フレコンの積み上げ》



可燃物の“山”



不燃物の“山”



実際のタグ



草・木類  
(可燃)



土壌等  
(不燃)

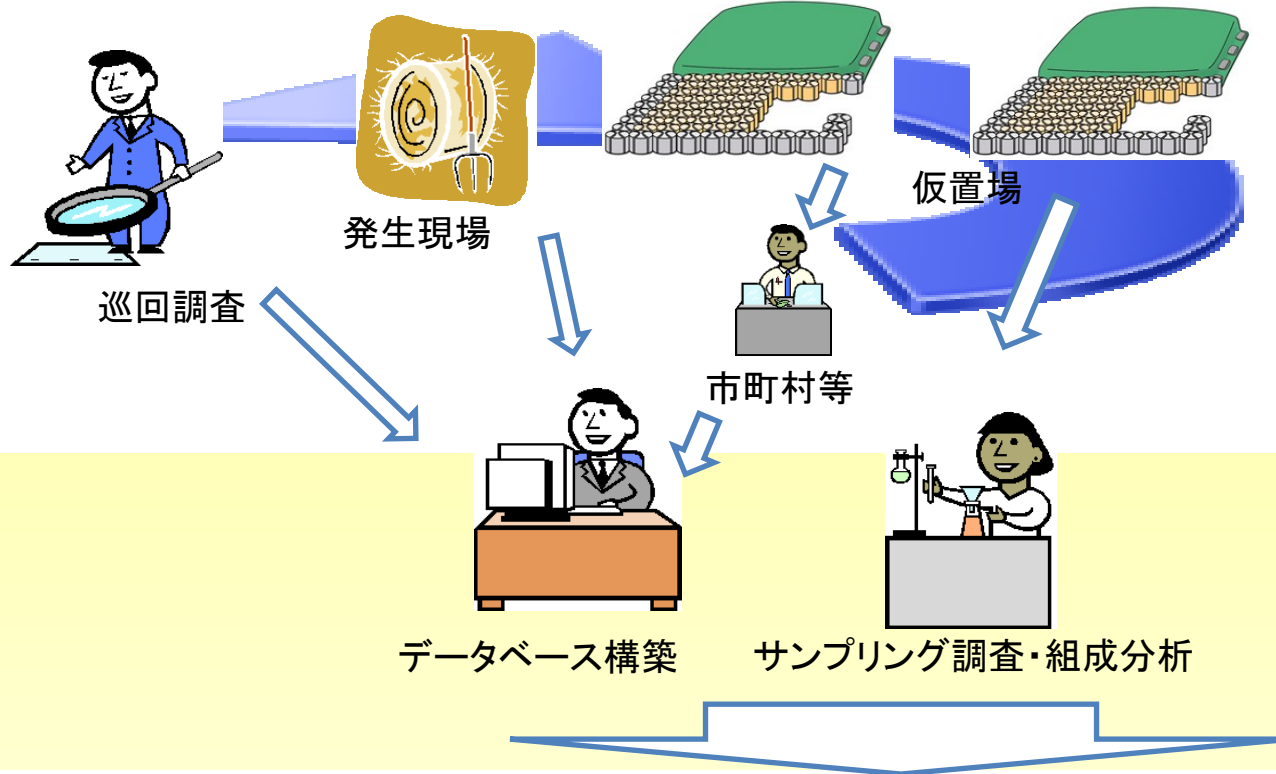
フレコンへの取付け





## 放射性物質により汚染された土壌等の除染の実施 (除去土壌等処理加速化データベース整備事業)

- 除染に伴って発生した除去土壌や、放射性物質に汚染された廃棄物は、福島県内の発生現場や仮置場等に保管されているが、現在は情報が統合管理されておらず、また、除染の実施や汚染廃棄物の処理の進捗に伴い、仮置場等における保管状況の把握が必要である



なる、保管状況や性状を一元的

平成25年度  
補正予算額  
407百万円

国

民間事業者

除去土壌や汚染廃棄物の安全かつ確実な処理

### 点検・計測の内容

区分	作業項目	内 容	頻 度	
通常時	目視による点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>各設備（シート、集排水設備、ガス抜き管、柵・看板等）の損傷、変状、劣化等の有無を確認</li> <li>周辺状況（基礎地盤の変状、浸出水染み出し・漏れ出し等）の有無を確認</li> </ul>	1回/週	
	各種測定	空間線量率（ $\mu\text{Sv/h}$ ）		1回/週
		仮置場の山	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部温度</li> <li>放出ガスの成分・濃度</li> </ul>	必要時
		内部からの浸出水	放射能濃度	必要時 (排水時は必須)
		地下水	放射能濃度	1回/月
環境整備	草刈り、清掃等		必要時	
異常気象等の緊急時	目視による点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>各設備（シート、集排水設備、ガス抜き管、柵・看板等）の損傷、変状、劣化等の有無を確認</li> <li>周辺状況（基礎地盤の変状、浸出水染み出し・漏れ出し等）の有無を確認</li> </ul>	基準値を超える降雨、強風、地震時	

### 「異常気象等（緊急）時」とみなす判断基準

現象	基準値
降雨	広野アメダス雨量が60mm/日または40mm/時を超過
強風	広野アメダス最大風速が20m/sを超過
地震	檜葉町内で震度4以上を計測

柵等を設けることで、仮置場に近づけないようにして管理しています。



全景

門扉・表示看板



- ・ 仮置場付近の空間線量率は、例えば入口付近で最大0.3uSv/hです。
- ・ 浸出水、地下水からは、基準値超の放射性物質は検出されていません。

仮置場名 (檜葉町北西部)	1m空間線量率 <sup>※1</sup> (μSv/h)	浸出水 <sup>※2</sup>					地下水 <sup>※2</sup>				
	2013/12/23測定	Cs134	検出 下限値	Cs137	検出 下限値	測定日	Cs134	検出 下限値	Cs137	検出 下限値	測定日
波倉	0.21	ND	1.85	ND	1.82	2013/12/4	ND	0.71	ND	0.91	2013/11/20
菅団	0.30	ND	1.33	ND	1.28	2013/12/4	ND	0.72	ND	0.93	2013/11/20
下繁岡	0.14	ND	1.48	ND	1.17	2013/12/4	ND	0.83	ND	0.94	2013/10/29
繁岡	0.30	ND	0.98	ND	0.91	2013/12/4	ND	0.8	ND	0.89	2013/11/27
上繁岡	0.28	ND	1.27	ND	1.17	2013/12/4	ND	0.64	ND	0.96	2013/11/27
松館-1	0.23	ND	1.44	ND	1.52	2013/12/4	ND	0.86	ND	0.8	2013/11/27
松館-2	0.21	ND	1.39	ND	1.28	2013/12/4	ND	0.57	ND	0.79	2013/11/27
上小埜・楸木下・下小埜-1(日暮 国有林)	0.20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
上小埜・楸木下・下小埜-2(清水)	0.14	ND	1.09	ND	1.75	2013/12/4	ND	0.89	ND	0.98	2013/10/29
上小埜・楸木下・下小埜-3(大師 作)	0.12	ND	1.06	ND	1.42	2013/12/4	ND	0.55	ND	0.83	2013/10/29
女平-1	0.21	ND	1.11	ND	1.28	2013/12/4	ND	0.81	ND	0.95	2013/11/14
女平-2	0.23	ND	1.13	ND	1.45	2013/12/4	ND	0.79	ND	0.81	2013/11/14
大谷-1(山根)	0.19	ND	1.54	ND	1.3	2013/12/4	ND	0.66	ND	0.89	2013/11/27
大谷-2(山岸・仲田)	0.15	ND	1.21	ND	1.17	2013/12/4	ND	0.7	ND	0.93	2013/11/27

\*1：2013年12月23日時点。100cmの高さで仮置場入口付近の空間線量率を測定。

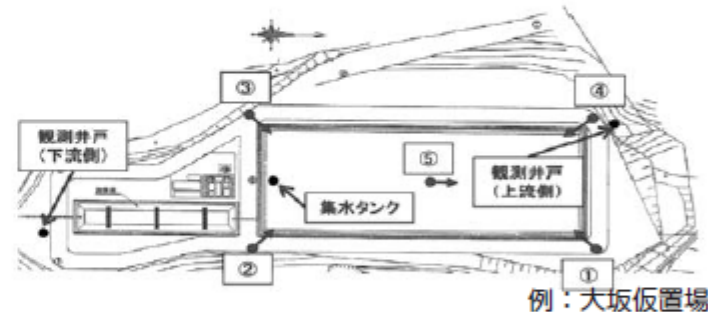
\*2：測定日は10/29～12/4。Cs134、Cs137の濃度を測定。浸出水の検出下限値は全て2Bq/l未満、地下水の検出下限値は全て1Bq/l未満で設定。

- 仮置場の管理状況等を、檜葉町が広報紙で毎月、情報発信しています。

## 除染廃棄物仮置場の管理について

檜葉町に設置してある除染廃棄物仮置場について、以下の項目の点検及び管理を行っております。

- 通常点検…週に1度、仮置場等の飛散防止措置、雨水等の進入防止措置、流出防止措置、立入制限措置、付帯設備等について異常がないか確認を行います。
- 異常気象時巡回…台風、豪雨、火災（近接箇所含む）、又は地震等により、仮置場の状態に変化が生じる恐れがある場合に、異常がないか確認を行います。
- 空間線量率測定…週に1度、仮置場1箇所当たり原則5地点（地上から1m高さ位置）を測定します。
- 地下水測定…月に1度、地下水の放射能濃度を測定します。
- 浸出水測定…月に1度、もしくは集水タンクに水がたまっている場合に、放射能濃度を測定します。一定以上の量の水がたまっている場合には適切な措置を講じ、その後、排水作業を行います。
- 温度測定…腐敗のおそれのある廃棄物について、週に1度、外気及び内部温度を測定します。
- ガス濃度測定…腐敗のおそれのある廃棄物について、週に1度、一酸化炭素（CO）濃度を測定します。
- 環境整備…年に4回、草刈り、堆積物の除去、ロープ柵への付着物の除去等の環境整備を行います。



### 各仮置場の管理状況

測定日：10月2日/9日/17日/21日/24日/31日 測定者：株式会社環境総合テクノス

点検項目 数値は平均値	空間線量率測定 測定箇所は上記図参照 単位 $\mu\text{Sv/h}$					除去物内部温度測定 単位 $^{\circ}\text{C}$	通常点検、異常気象時巡回 地下水・浸出水測定、ガス濃度測定
	①	②	③	④	⑤		
地区						平均温度	
大坂	0.21	0.20	0.20	0.21	0.19	20.9	異常なし
乙次郎	0.28	0.24	0.20	0.26	0.19	22.2	異常なし

※現在、各行政区で建設中の仮置場については、完成次第記載させていただきます。

出典：「広報ならは」12月号